**「ＪＲ宝殿駅南地区の整備事業について」**

公明党議員団の小林直樹でございます。通告に従いまして順次質問いたします。よろしくお願いします。

質問事項１「ＪＲ宝殿駅南地区の整備事業について」質問いたします。

ＪＲ宝殿駅周辺は、「ＪＲ宝殿駅附近都市整備事業」において、昭和52年に加古川市と高砂市が組織した「宝殿駅附近都市整備協議会」が設立され、これまで、駅の橋上化や北側の土地区画整備、南口駅前広場、駐車場整備など様々整備されてきました。

しかしながら、駅南側の再開発事業は平成１４年以降滞ったままであり、特に印南郡公会堂跡地の土地活用の議論も進んでいない状況であります。なぜ遅れているのか、現状はどうなっているのか、そして、今後どういう方針でどのように進めていくのか、確認も含めてお伺いします。

まず小項目１点目。印南郡公会堂跡地は、１９５０年代の昭和の大合併の時に、当時の印南郡が、加古川市・高砂市・姫路市に分割合併された時に残ったもので、三市の共有地になっています。公会堂跡地の面積と土地の現価格、三市それぞれの権利の割合をお聞かせください。そして、現在の活用状況と維持管理、運営はどのようになっているのかお聞かせください。

小項目２点目。駅南の県道伊保宝殿停車場線は、国道２号線から南の区間は拡幅整備されていますが、駅と２号線の区間は未整備のままです。高砂市民からも２号線の交差点を含めて拡幅整備の要望があります。当路線の整備に関して都市計画はどうなっているのか。県とどのような調整をしているのか、進捗状況をお聞かせください。

小項目３点目。平成１４年以降今日まで約１６年間、駅南の再開発事業が全く進んでおりません。二市が組織した宝殿駅附近都市整備協議会や宝殿駅南まちづくり推進委員会は機能しているのか、また、再開発事業が進んでいない理由をお聞かせください。

小項目４点目。加古川市総合基本計画では、宝殿駅は地域拠点として位置付けられ「宝殿駅周辺地区については、駅南地区における整備手法を地域住民とともに検討します」とあります。この数年地域住民とどんな協議をし、検討をしてきたのか。市としてどのように関わってきたのか。また高砂市と市長レベルでの協議はされてきたのか。お聞かせください。

最後、小項目５点目。ネックとなっている三市共有の公会堂跡地をどう処分して、どう活用するのか。高砂市と姫路市の意向はどうか。駅南地区一帯の再開発事業を再構築するのか、今後の取り組み方、方針をお聞かせください。

以上で質問事項１の最初の質問を終わります。